

令和8年度 看護職員の負担の軽減及び処遇の改善に対する計画

令和8年4月現在の状況				
1 病床数	275床	一般病棟271床（5単位）	ハイケアユニット（4床）	
2 勤務体系	2交代制（日勤・夜勤）	看護職員182名	非常勤看護職員6名（5.1）非常勤准看護師2名（1.3）短時間正職員9名	看護助手（常勤7名 非常勤22名）

取組内容	具体的な項目	取り組み内容	令和9年3月まで目標	目標達成のための行動・手順
業務量の調整	時間外労働削減のための業務量調整	看護管理師長が各部署の時間外勤務者を把握し 外来日勤・遅出を応援要員として配置する	前年度平均4.62時間より超過勤務が増加しない	労務管理の徹底及び業務量調査の実施と業務改善・ 固定チームナーシングの活用
看護職員と他職種との業務分担	臨床工学技士 透析業務・医療機器管理	平日・土曜日の透析室の日常業務の実施 医療機器の日常点検の実施	透析室の超過勤務の削減前 年度平均3.28時間以下	透析室看護師長と臨床工学副技師長が勤務調整 平日2名・土曜日1名・2クール日居残り者配置
	放射線技師 CT造影検査時の血管確保・患者搬送	CT造影検査時の血管確保の実施及び夜間・休日の救 急外来での検査に伴う患者搬送介助	血管確保の導入	血管確保実施に向けた技術指導・研修の実施及び評 価・実施状況の把握
	理学療法士・作業療法士 喀痰吸引・患者搬送	呼吸器リハビリ患者又はリハビリ中の患者の喀痰の 吸引の実施・患者のリハビリ室への搬送の実施	喀痰吸引実施件数の増加	喀痰吸引実施に向けた技術指導・研修の実施及び評 価・実施状況の把握
	臨床検査科技師 ポータブル心電図検査・検体搬送	夜間・休日の救急外来でのポータブル心電図検査の 実施・夜間救急外来での検体搬送	検査実施件数の増加	検査科及び救急外来担当者への周知・徹底及び調整 と評価・実施状況の把握
	薬剤師 病棟薬剤業務 持参薬確認・服薬指導	入院時の持参薬確認の実施・退院前服薬指導の実 施・(周術期抗菌薬管理等の実施)	看護師の薬剤業務の減少	病棟担当薬剤師との連携・依頼内容の把握
	管理栄養士 栄養指導	外来、入院患者の栄養指導の実施・栄養総合評価に よる管理栄養士の介入・NST回診	栄養指導件数の増加	入院時のGLIM基準栄養評価と栄養計画の作成 実施・評価・医師等多職種との連携
	看護補助者 入院時のオリエンテーション	入院時の入院オリエンテーションの実施	看護補助者の接遇力向上	看護補助者の研修の実施・説明状況の把握 フィードバック・構造評価の実施
	医事課事務員 入院セットの説明	入院時の入院セットの説明の実施	時間内入院患者100％実施	医事課事務職員との連携・入院セット同意書の確認
看護補助者の配置	看護補助者の夜間配置	看護補助者を夜勤帯に配置し看護師の夜勤負担 の軽減を図る	急性期看護補助体制加算 （100対1）夜間配置維持	看護補助者の確保と様式9による勤務管理
短時間正規雇用の看護職員の活用	短時間正規雇用の看護職員の活用	育児時間等各種制度の取得の活用	働きやすい環境の整備がで きる	育休明けの復職時、看護部長と面談し育児短時間勤 務の取得等の確認と総務との連携
多様な勤務形態の導入	多様な勤務形態の導入	看護補助者の早出の配置・看護師の遅出の配置 など部署の状況合わせた勤務管理	看護師の夜勤負担が軽 減する	多様な勤務形態により看護師の夜勤負担を軽減し 働きやすい環境を整備
妊娠・子育て・介護中の看護職員 に対する配慮	夜勤の減免・休日勤務の制限 半日・時間単位休暇・他部署配置転換	妊婦定期健診特休・子の看護休暇等の取得の推 奨	働きやすい環境の整備がで きる	産休前・育休明け看護職員との看護部長面談の実施 働き方の確認と働きやすい環境の整備
夜勤負担の軽減	夜勤専従者の増員 看護師の遅出業務の配置	看護師の遅出を配置し病棟応援・救急外来業務の実 施	看護師の夜勤負担が軽 減する	管理看護師長の院内全体把握と遅出勤務者との連 携・調整